

深谷市国民健康保険の 事業状況等について



深谷市保険年金課

目次

第1 令和4年度深谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算 3

第2 被保険者数 8

第1 令和4年度深谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

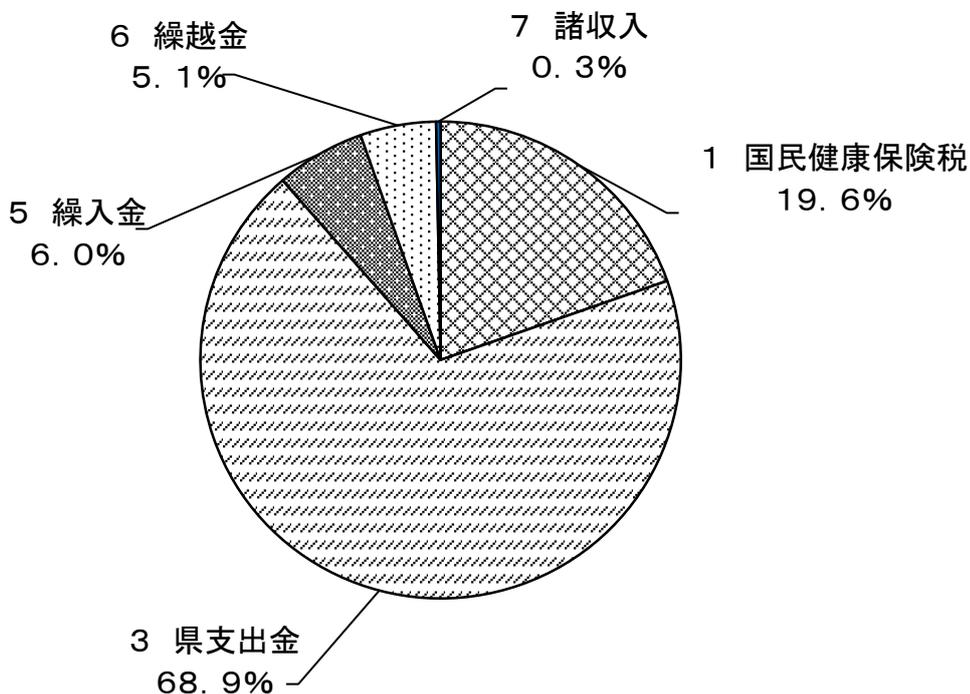
1. 総括

令和4年度末における本市の国民健康保険の被保険者数は、団塊の世代が75歳到達により後期高齢者医療制度へ移行していることや短時間労働者への社会保険適用拡大等により、前年度と比較して1,934人の減少となりました。被保険者数の減少については、今後さらに加速することが想定されます。

次に、令和4年度決算の概要ですが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えの反動により、令和3年度に大幅に増加した医療費が、令和4年度は例年規模に収束したことにより、歳出総額は146億6,090万72円、前年度比1億8,866万970円の減、比率にして1.3%の減となりました。

歳入についても、歳出と同様に、医療費の減少に伴い、これらの財源となる県支出金が減少したことから、歳入総額は151億1,525万5,501円、前年度比5億923万2,623円の減、比率にして3.3%の減となりました。

令和4年度 決算款別内訳
歳入 15,115,255,501円



歳入 (単位：円、%)

款	令和3年度		令和4年度		前年対比
	決算額	構成比	決算額	構成比	
1 国民健康保険税	3,007,931,691	19.3	2,966,871,613	19.6	▲ 1.4
2 国庫支出金	14,994,247	0.1	76,000	0.0	▲ 99.5
3 県支出金	10,713,411,662	68.6	10,421,609,152	68.9	▲ 2.7
4 財産収入	44,242	0.0	64,931	0.0	46.8
5 繰入金	1,449,997,000	9.3	902,638,000	6.0	▲ 37.7
6 繰越金	401,391,469	2.6	774,927,082	5.1	93.1
7 諸収入	36,717,813	0.2	49,068,723	0.3	33.6
8 市債	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	15,624,488,124	100.0	15,115,255,501	100.0	▲ 3.3

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

2. 歳入（主なもの）

（1）国民健康保険税

国民健康保険税は、被保険者の減少により調定額・収入額とも年々減少しており、令和4年度も前年度と比較して約4,100万円、1.4パーセント減少しました。

（2）国庫支出金

国庫支出金は、国から交付される支出金です。

社会保障・税番号制度に係るシステム整備費補助金が皆減したため、前年度と比較して約1,500万円、99.5%減少しました。

（3）県支出金

県支出金は、県から交付される支出金です。

令和3年度よりも医療費が減少したことに伴い、これらの費用に対し、交付された県支出金の普通交付金が減少したことから、前年度と比較して約2億9,200万円、2.7パーセント減少しました。

（4）財産収入

財産収入は、国民健康保険で設置している高額療養費貸付基金などの基金の運用利子です。

運用利子が増加したことにより前年度と比較して約2万円、46.8パーセント増加しました。

（5）繰入金

繰入金は、一定所得以下のかたに適用される国民健康保険税の軽減に対する補てんや、国民健康保険の財政安定化のために、一般会計から繰り入れるものです。

令和3年度の決算剰余金である令和4年度繰越金が増加したことから、赤字補填のための一般会計繰入金が減少し、前年度と比較して約5億4,700万円、37.7パーセント減少しました。

（6）繰越金

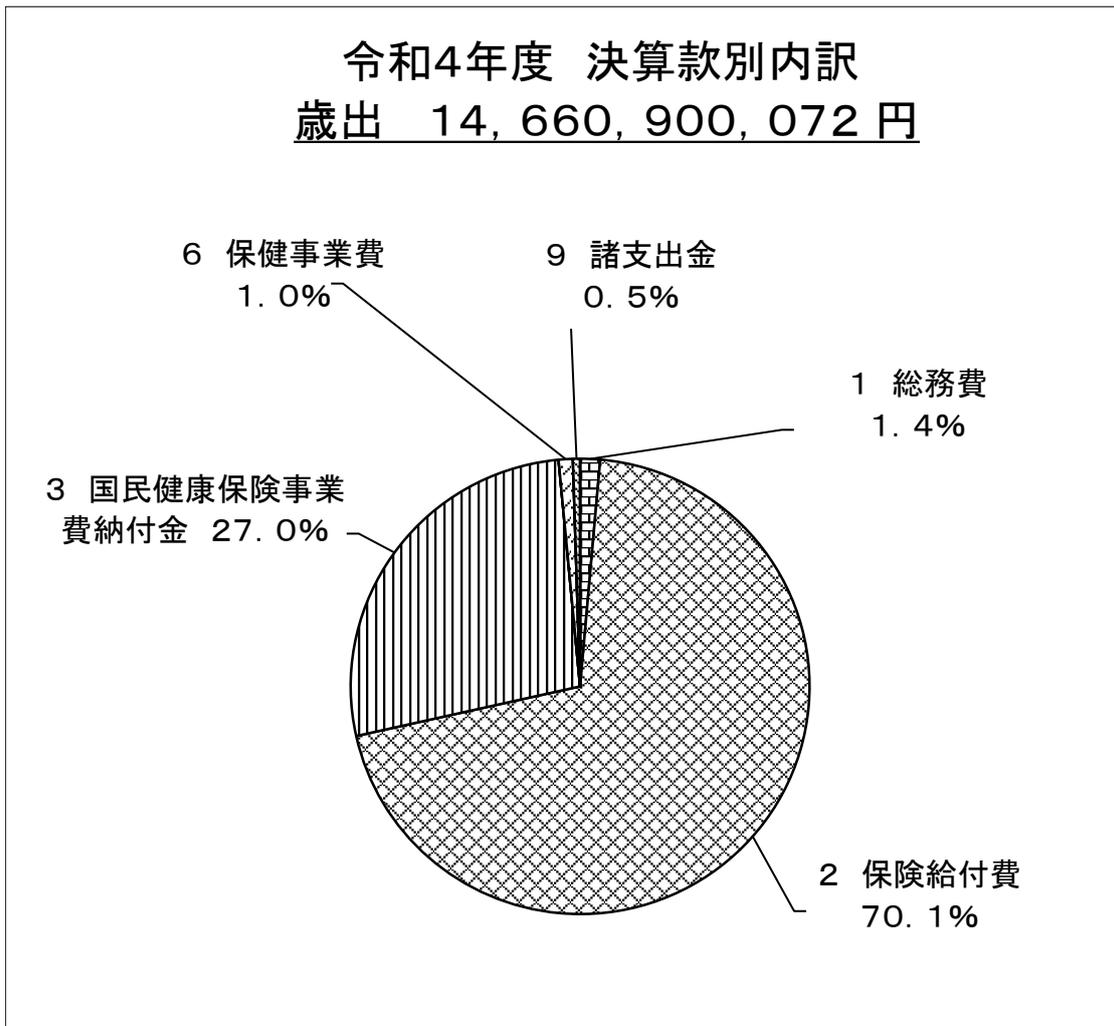
繰越金は、令和3年度から令和4年度へ繰り越された金額（決算剰余金）です。

令和3年度において国民健康保険税の収納額が見込みよりも多かったことから、前年度と比較して約3億7,400万円、93.1パーセント増加しました。

（7）諸収入

第三者納付金や返納金などの増加により、前年度と比較して約1,200万円、33.6パーセント増加しました。

令和4年度 決算款別内訳
歳出 14,660,900,072 円



歳出 (単位：円、%)

款	令和3年度		令和4年度		前年対比
	決算額	構成比	決算額	構成比	
1 総務費	214,129,081	1.4	199,322,926	1.4	▲ 6.9
2 保険給付費	10,538,707,991	71.0	10,279,512,740	70.1	▲ 2.5
3 国民健康保険事業費納付金	3,918,691,232	26.4	3,960,872,945	27.0	1.1
4 共同事業拠出金	224	0.0	242	0.0	8.0
5 財政安定化基金拠出金	0	0.0	0	0.0	0.0
6 保健事業費	118,317,580	0.8	142,055,733	1.0	20.1
7 基金積立金	44,242	0.0	64,931	0.0	46.8
8 公債費	0	0.0	0	0.0	0.0
9 諸支出金	59,670,692	0.4	79,070,555	0.5	32.5
10 予備費	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	14,849,561,042	100.0	14,660,900,072	100.0	▲ 1.3

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

3. 歳出（主なもの）

（1）総務費

総務費は、人件費の減少により、前年度と比較して約1,480万円、6.9パーセント減少しました。

（2）保険給付費

保険給付費は、被保険者にかかる医療費のうち保険者（市）負担分を医療機関等に支払うための経費や、出産育児一時金、葬祭費、傷病手当金などにかかる経費です。

医療費が減少したことから、前年度と比較して約2億5,900万円、2.5パーセント減少しました。

（3）国民健康保険事業費納付金

国民健康保険事業費納付金は、国民健康保険事業に必要となる費用を県が各市町村の所得水準や医療費水準などを基に算出し、深谷市負担分を県に納付するものです。

一人当たりの保険給付費が増加したため、市町村の負担分が増加したことなどから、深谷市分の納付金額が前年度と比較して約4,200万円、1.1パーセント増加しました。

（4）保健事業費

保健事業費は、特定健康診査や特定保健指導に係る経費、人間ドック等の助成に係る経費です。

人間ドック等の助成額を増額したことから、前年度と比較して約2,370万円、20.1パーセント増加しました。

（5）諸支出金

諸支出金は、超過交付となった国及び県の交付金等を返還するものです。

令和4年度は、県交付金等の返還額の増加により、前年度と比較して約1,940万円、32.5パーセント増加しました。

第2 被保険者数

本市における国民健康保険の被保険者数は、全国的な傾向と同様、後期高齢者医療制度や社会保険への移行による脱退者の増加に伴い、年々減少しています。また、令和4年度において、被保険者の年齢区分別構成割合は、60歳以上が56.1%を占め、高齢化が進行しています。

深谷市国民健康保険の加入状況

区分		年度	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
総数	人口 ①		142,556人	142,003人	141,343人
	世帯数 ②		61,048世帯	61,628世帯	62,188世帯
	一世帯あたり人数 ①/②		2.3人	2.3人	2.3人
国民健康保険	被保険者数 ③		33,777人	32,624人	30,690人
	世帯数 ④		20,807世帯	20,485世帯	19,607世帯
	一世帯あたり被保険者数 ③/④		1.6人	1.6人	1.6人
	国保加入割合 ③/①		23.7%	23.0%	21.7%

被保険者の推移および年齢層について

